

ギュムリ市における

平成30年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式の実施

平成 31 年 3 月 7 日(木), 山田在アルメニア日本大使は, アルメニア北西部のシラク州ギュムリ市庁舎において, 本年度草の根・人間の安全保障無償資金協力にかかる 3 件の贈与契約の署名式を実施いたしました。本式典には, 山田大使とそれぞれの被供与団体の代表者, バラサニャン市長他が出席しました。

最初に, 山田大使と「ギュムリ市失業者支援施設整備計画(贈与金額: 26,923 米ドル(3,015,376 円))」の被供与団体アルメニア教会シラク教区社会教育センターのアジャパヒャン主教との間に贈与契約の署名が行われました。本計画は, ギュムリ市の社会教育センターで提供されている失業者向けの職業訓練を拡大するため, 建物の一部を改修し, 職業訓練用機材の供与を通じて, 無職の貧困層の社会参画を支援するものです。これにより, 同センターで職業訓練を受けることのできる定員が 70 名より 105 名に増加し, 年間あたり約 105 名の社会的に脆弱な無職の成人男女が裨益する計画です。また, 本職業訓練カリキュラムを受講することにより, 30%の裨益者が就職若しくは自営業を開始できることが見込まれています。

続いて, 山田大使と「ギュムリ市第一職業訓練学校機材整備計画(贈与金額: 77,185 米ドル(8,644,720 円))」の被供与団体 NGO「未来はあなたのもの」のサルグシャン代表との間に贈与契約の署名が行われました。同校は現在, 理髪, 調理, 裁縫の 3 コースを擁し, 生徒 246 人が通う州内最大規模の職業訓練学校ですが, 校内にはソ連時代に整備されたまま現在まで使用されているものが多く, 経年劣化による破損や紛失状態ものが目立つため, 老朽化した学校機材を更新して生徒

の専門技能の修得環境の改善を目的としています。これにより、生徒 246 人の職業訓練環境と教職員 58 人の就業環境の改善が見込まれています。

最後に、山田大使と「脆弱な高齢者のためのデイケアセンター改修計画(贈与金額：21,634 米ドル(2,423,008 円))」の被供与団体 NGO「アルメニアン・カリタス」のタラシャン代表との間に贈与契約の署名が行われました。ギュムリ市及びタシル市のデイケアセンターでは、独身で極度の貧困層の高齢者を受け入れており、食事、健康診断、入浴、洗濯などのサービスを提供し、地域の高齢者支援のためになくてはならない存在となっています。一方、両センターは建設後 30 年が経過し、劣化による施設内部の破損や機材の故障、それによる利用者の安全や衛生状態に対するリスクが懸念されています。本計画は、両市のデイケアセンターの建物の一部を改修するとともに、劣化及び故障した車椅子や歩行器などの高齢者支援機材を整備することで、高齢者向けの健康サービスの改善を目的とするものです。これにより、同センターを利用する 110 名の高齢者の生活環境および職員 14 名の就業環境が改善されることが見込まれています。



バラサニャン・ギュムリ市長と
会談を行う山田大使



山田大使と贈与契約を交換するシラク教区
社会教育センターのアジャパヒャン主教



贈与契約署名後に謝辞を述べる NGO
「未来はあなたのもの」のサルグシャン代表



贈与契約署名後に握手を交わす山田大使と
「アルメニアン・カリタス」のタラシャン代表